

北海道・東北地協 医学生交流集会on-line 地域で生き、地域で看取る～在宅医療の取り組みから～

2020年11月28日(土)に、北海道東北地協合同医学生交流集会がオンラインにて開催され、39名の医学生の方に参加していただきました。

今年のテーマは「地域で生き、地域で看取る～在宅医療の取り組みから～」。これから医師になる上で切り離せない「死」に向き合い、患者さんや家族がその時を迎えた時にどんな事を感じるのか、或いは何を求めるのか、そしてその時自分は医師として何が出来るのかという事を考えました。

講師は、坂総合病院在宅科科長の佐藤美希医師をお招きし、在宅医療との出会いや、よりよく生き最後まで自分らしく生きる事を支えるために医療者としてどう取り組んでいくのかという事を実体験をもとに講演していただきました。

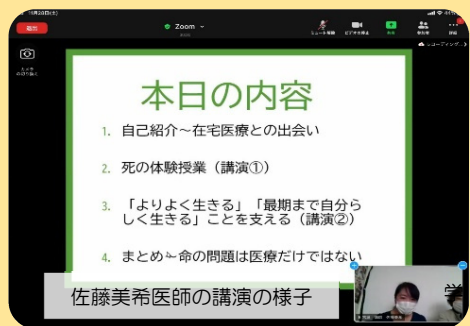
グループワークでは、自分にとって大切な人、物、自然環境、活動をそれぞれ5つずつあげ、もしも自分が治らない病にかかったら誰に何を伝えたいかを考え、少しずつ大切なものを手放していき、自分の死に向き合うという

死の体験旅行を行いました。

また、ある事例を基に、自分が主治医だったら何が出来るか、家族の立場だったらどんな事が心配か、本人だったら何を必要とするのかという事をディスカッションしました。

参加した医学生からは、患者さんの心に寄り添い本人がどうしていきたいのかと一緒に考えていきたい、患者を待っているだけではなく医療に繋げていく事も医師の役割だと感じた、外向かって助けを求める事は決して悪い事ではないという事をえたいなどの感想をいただきました。

参加者一人一人が、改めていのちについて考える事の出来る、学びの多い企画となりました。



医学科新入生の皆さんへ 合格お祝い会のお知らせ

新たな生活に期待と不安でいっぱいの方、先輩に色々聞いて疑問を解決しませんか。先輩医学生より、大学生活6年間の過ごし方についてのアドバイスなどを予定しています。参加者には事前に宮城の名産品をプレゼント(〇)♪お気軽にご参加下さい。

〇日時：2021年3月30日(火) 18:00~19:00頃

〇場所：オンラインアプリZOOM

予告②

医学生対象 奨学金制度説明会のお知らせ

地域医療に興味があり、医学生や医学科への進学を検討している方・親御さん向けに奨学金制度説明会を行います。学年を問わず、年度途中からでも応募できます。ご参加をお待ちしております。

〇日時：2021年3月13日(土) 10:00~13:00頃

〇場所：TKPガーデンシティ仙台カンファレンスルーム30D (AER30階)

各企画の申し込みはこちらのQRコードからお願いいたします。⇒

予告①



坂坂で読んでみたい記事はございませんか？

医師やコメディカルに聞いてみたいこと・病院のこと・勉強方法についてなどぜひ、こちらまでご意見をお寄せください。^ ^

次回の坂坂の発行は5月の予定です。

igakusei@miyagi-min.com



坂総合病院HP

「医学生のひろば」より

過去の坂坂がご覧になれます。



研修2年間を振り返って

初期研修が始まった1年目の4月のことを思い出すと、比喩ではなく、本当に右も左もわからない状態だったと思います。大学で学んできたことと実臨床での違いにとまどい、求められる責任の大きさ、当直業務や書類仕事など慣れない仕事に日々圧倒されながら、毎日頑張っていたように思います。

坂病院では1年目初期研修医であっても、主治医として入院患者さんの診療にあたります。これは指導医の陰に入らずに、最前面で患者さんと主体的に向き合うということです。日々、患者さんを診察し、どのようなプロブレムがあるのか、どのように解決していくのか。毎日勉強し、指導医の先生と話し合い、方針を決めていきます。また主治医として、患者さんやご家族に病状説明を行うこともあります。時には死期が近いことや、予後不良の疾患であることなど、厳しい説明を行うこともありました。もちろん最初から上手くはできず、様々な場面で指導医の先生方に助けてもらいながら、ひとつひとつできることを増やしていきました。

坂病院には実に多くの患者さんが訪れます。その中には受診をしなくても問題のないような人から、walk inでも実は重篤で結果的に救命できないような患者さんもいます。また地域に根付いた病院であることから専門科にとらわれない非常に幅広い疾患をもった患者さんが来院します。そして初期研修医がそういった数多く幅広い症例に対してfirst touchで診ることが出来るのは非常に良かったと思います。自分もこの2年間でとても多くの症例を経験できました。風邪症状から腹痛などのcommon disease(日常的に高頻度で遭遇する疾患)はもちろん、急性心筋梗塞や大動脈解離、脳卒中、呼吸不全、ショックなど一刻を争うような重篤な疾患も経験し、その度に学びを深めました。この2年間を振り返ると、自分は信じられないくらい成長できたと思います。

ただ今後自分が医師人生を歩んでいく中で、どのように自分を高めていけば良いのか、どのように努力を積み重ねていけば良いのか、それを学ぶことができました。これは2年間の研修を終えてみると、症例を多く経験したり、稀な疾患の治療に関わることよりも大切なことではないかと思えます。

いまコロナ禍という環境の中で、医学生の皆さんはこれまでに大変な学生生活を送っていると思います。実習が十分にできず、このまま研修医になるのが不安な方も多いのではないのでしょうか。私が研修医になったときはコロナ禍のような状況はとても想像していなかったですが、それでもやはり、不安でいろいろ悩んでいました。2年間の研修を通して、自分の進むべき道を決め、困難な状況にあっても進んでいく力がついたと思えます。

初期研修では先生方だけでなく、コメディカルの方々、事務の方々などたくさんの方々に支えていただき感謝してもしきれません。この病院で研修を行って本当に良かったと思います。



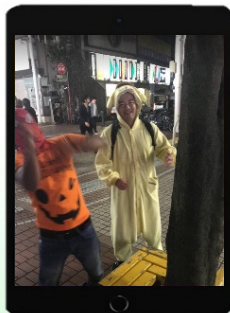
山形大学卒業
研修医2年目
木葉 大地医師

～研修医のオフタイム紹介～



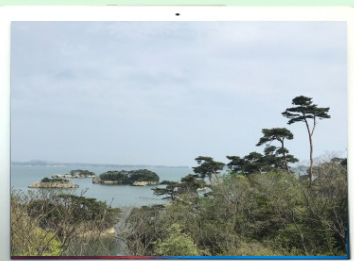
「オカメインコの
めいちゃんです。
日々の疲れを癒して
くれる、我が子のよ
うな存在です。」

初期研修医 2年目
熊谷 優大Dr



「新型コロナが流行
する前は、季節の
イベントを楽しん
でました！」写真
は2年前に撮った
ハロウィンです。」

初期研修医 1年目
山田 泰史Dr



「松島まで三時間かけて
ウォーキング！隠れた
絶景スポットもありま
すよ！」

初期研修医 1年目
寺田 英知Dr



福利厚生のご案内

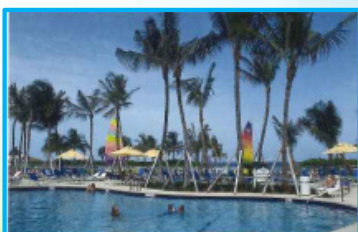
医療現場で大切なことは医師自らが心身ともに健康であること！そのため坂病院では福利厚生面の充実に取り組んでいます！

世代会



年に1回、同期全員が同じ日に
休暇を取得することができます。
旅行やキャンプ、食事会をする
など、同世代の交流を深めます。

リフレッシュ休暇



有休休暇とは別に、年7日の休暇
を取得することができます。旅行
や実家への帰省など、プライベート
の時間を楽しむことができます。

共済会



職員が加入する共済会では、
スポーツ大会や温泉旅行、
ボウリング大会などの企画
を楽しめます。

< 教えて！先生！質問コーナー！



東北医科薬科大学A君

薬について、大学の授業では一般名を勉強していますが、実習に出ると商品名が出てくることが多いと感じています。どのタイミングで覚えていますか？

坂総合病院 リハビリテーション科 千葉茂樹Dr

薬剤の一般名と商品名が一致するようになったのは、やはり現場で仕事を
する中ででした。学生の間は、実習で経験した薬剤から徐々に覚えて
いけばいいと思います。」



坂総合病院 初期研修医 2年目 熊谷優大Dr

耳学問で自然と覚えますよ。あと、カルテ内で添付文書が見れるので、
確認も簡単です。



東北医科薬科大学Bさん

国家試験までどれくらい前から焦り始めましたか？どの時期からどんな
対策をしましたか？

坂総合病院 初期研修医 1年目 大衛竜太Dr

自分は5年生の実習が始まってから回っている科の問題を解いたりし
ていました。同級生には映像授業を計画的に見ている人もいました。
大学や学年にもよりますが焦ってくるのは6年生の春～夏くら
いでしょうか。



東北医科薬科大学C君

医師になってどんな事にやりがいを感じていますか？

坂総合病院 初期研修医 2年目 松園 優Dr

気管挿管＋人工呼吸器をつけた患者がおり、本人は喋れない状態だった
が、家族からお礼を言われた際に、少なくとも無駄ではなかったとやり
がいを感しました。



東北医科薬科大学D君

研修医の先生に質問です。業務以外の時間の中で、勉強と趣味に使う
時間のバランスはどのようにしていますか？

坂総合病院 初期研修医 2年目 熊谷優大Dr

臨床上の疑問を踏まえた学習(clinical question based learning)は最優先
で時間を割きます。あとはタイミング次第で、疲れてると思ったら無理
はせず趣味に全振りしてます。余裕があるときは、レジデントノート
を読んだり、他の人の当直カルテを見て勉強したりしてます。





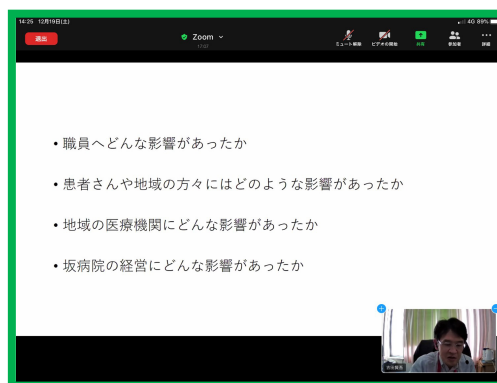
医学生 ウィンターミーティング 2020 in オンライン 開催！



～ウィンターミーティングとは～

学習企画などを通じて、医学生の方に宮城県民医連の雰囲気を感じてもらう企画です。また学生同士はもちろん、先輩職員との交流が出来る場でもあります。

12/19(土)、ZOOM アプリによるオンラインウィンターミーティングを開催致しました。例年は、松島大観荘にて1泊2日で行ってありますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、Webでの開催となりました。全体を通しての参加者は、医学生が19名、先輩医師11名でした。



【学習企画 ～コロナと医療現場～】

以下の2つのテーマについてグループごとに討議。

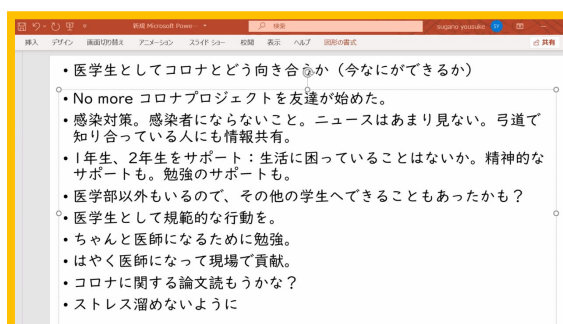
- ① 新型コロナによる自分の状況
- ② 「医学生としてコロナとどう向き合うか（今何が出来るか）」

※メンバーは先程のアイスブレイクのメンバーと同様
※時間はそれぞれのテーマ毎に15分間。
※討議終了後、2つのグループから発表。(1～2分ほど)

最後に、宮城県民医連連医学生委員長の佐藤孝洋医師より、総括として医学生の皆さんへ温かいメッセージをいただきました。

オンライン上での開催ではありましたが、参加した方から「楽しい時間を過ごすことができた」「先生方の雰囲気を知ることができた」などの感想をいただきました。今後も様々な企画を予定しておりますので、是非多くの医学生の皆さんのご参加をお待ちしております。

はじめに、坂総合病院リハビリテーション科科長の藤原大医師より、参加学生への激励のお言葉をいただきました。学習企画では坂総合病院の吉田賢吾事務局長より、新型コロナによる坂病院への影響・地域の方々の現状を教えてください、と「コロナと医療現場」をテーマとした2つのSGDを行いました。参加学生からは「他大学の状況が知れた」「自分には思いつかない意見があり参考になった」等の発言があり、有意義な学習の場になりました。

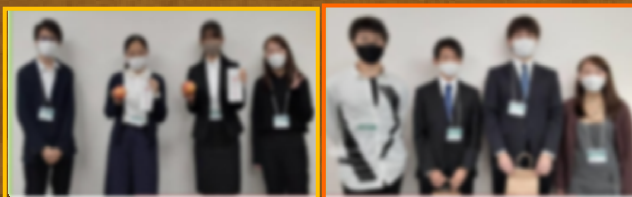


第 1 回・第 2 回 医学科受験生向け模擬面接開催

11 月 4 日(水)に TKP 仙台西口ビジネスセンターにて第 1 回目、11 月 7 日(土)に TKP 仙台カンファレンスセンターにて第 2 回目の医学科受験生向け模擬面接を開催しました。計 5 名の受験生が参加して下さり、「具体的なアドバイスを頂き、改善点が見つかりました」「本番の様な形式で良い練習になりました」などの感想が寄せられ、模擬面接を通して様々なことを学んだ様子でした。

模擬面接終了後は東北大学と東北医科薬科大学の現役医学生との交流会を行い勉強方法や問題の解き方を含む入試対策の他、大学生活や今どんな実習をしているかなどのお話で盛り上がりしました。

こちら「大学生活のお話を聞けて良かった」という感想があり、有意義な時間を過ごせた印象でした。



来年度も開催する予定ですので、受験生の皆さんは是非ご参加下さい！

古川学園 医師・看護師・薬剤師講演会開催！

12 月 15 日(火)に、古川学園中学校・高等学校の医療系進学希望者を対象とした講演会を実施しました。今年度は新型コロナの影響もありオンラインでの開催となりましたが、計 42 名の方が参加して下さいました。



坂総合病院研修医の大衛竜太先生からは、高校時代の勉強方法・大学生活・研修医になってからの大変さについて話していただきました。

つばさ薬局薬剤師の川田真奈美さんからは、薬剤師の主な仕事やあまり知られていない業務内容・薬学部に入ってからのお勉強内容・進級することの難しさを教えていただきました。

最後は長町病院看護師の粕谷知未さんより、看護師の業務・看護師のキャリア・自分自身が働く上で大切にしていることを教えていただきました。

後日集約したアンケートには「大変参考になった」「視野が広がった」「さらに興味を持てた」「曖昧だった希望進路が明確になった」という感想が多くあり、具体的な勉強方法や業務内容についての質問もたくさん寄せられ、大変有意義な企画となりました。

今後も少しでも多くの方に医療従事者の業務を知ってもらい、進路の参考になるような企画を行っていききたいと思います。今回参加して下さいました古川学園の皆様、ありがとうございました。

